

令和七年
十月



令和7年度 Vol.3

第3回 学校運営協議会

第3回学校運営協議会（令和7年9月19日開催）の内容を報告します。

発行・文責：

糸島市立前原小学校 学校運営協議会委員

今回は、前期学校自己評価結果と全国学力・学習状況調査結果について協議しました。後半では「まごころ・えがお・がんばる会議」を開催し「地域と連携した活動について」話し合いました。

前期学校自己評価について

鏡教頭による詳細な説明のもと、子どもたちの学校生活への満足度が高く、学校生活を楽しんでいる様子が見られました。

- ・保護者アンケート回答率も57%と前年から向上し、学校への関心の高さが見られました。
- ・一方で「子どもたちと地域とのつながり」に関する保護者からの評価は低く、改善が必要とされています。

前期授業では、6年生から学校運営協議会委員へのインタビューが行われ、「地域人材の活用」や「地域との繋がり」を大切にしようとする学校の想いを改めて感じました。この『縁』でも、引き続きこうした繋がりをお伝えしていきたいです。

高く評価できる取組としては、次のことです。

- ・先生方が積極的に地域行事へ参加して地域との連携を深めていること
- ・3年生への夏休みの課題で「基礎重視」と「発展問題」の選択制を導入することをはじめ、自ら選んで学ぶ姿勢を育てていること

全国学力・学習状況調査等結果について

西村主幹教諭より、6年生が4月に実施した全国学力・学習状況調査結果、5年生が5月に実施した福岡県学力・学習状況調査結果について報告があり、5、6年生ともに福岡県、全国平均を上回る成果を上げていました。

結果に繋がった要因として

- ・コミュニケーションを重視した授業構成
- ・理解度を深める習熟度別のクラス編成
- ・朝タイムにおける活動（条件作文の取組）

などが示されました。

一方で、同時に行われた状況質問調査で、「地域や社会をよくするために何かしたい」という子どもたちの意識が低いことが課題として挙がりました。委員からは、「子ども会への加入率の低迷」など、「保護者の地域への関心の薄れ」が影響しているのではとの意見もあり、地域活動への参加促進が求められています。

まごころ・えがお・がんばる会議

「学校・保護者・地域が連携し、子どもの成長と一緒に支え合う活動について」各学年の先生も交えて報告と意見交換を行いました。

【活動報告】

- ・2年生:GT(ゲストティーチャー)に学ぶミニトマトと畑の野菜づくり、商店街探検
- ・3年生:児童委員民生委員の見守りによりスーパーを探検

地域の「名人」の力を活用することで、子どもたちに地域を身近に感じてもらい、地域との繋がりを深める取組となっていました。

【今後の予定】

- ・1年生:シニアクラブの方と昔遊びをしたい
- ・3年生:人権の花「ひまわり」を栽培することを通して学んだ人権についての学び⇒障がい者や高齢者を対象とした「福祉」について学び、育てたひまわりの種を高齢者宅へ届けたい

【学校運営協議会委員からの提案】

- ・遊びの名人(コマ回し名人)として参画できること
- ・児童委員民生委員、福祉委員による見守り活動や毎月行うサロンで高齢者との交流があるので、その場を活用することができるのではないか
- ・ひまわりを自宅に植えられない方もあるので、商店街や行政区管理の場所等にひまわりの植栽を依頼すれば、地域の方が通るときに花を楽しめるのではないかと

今後も引き続き、学校からの提案や相談に対し地域としてできることを考えたいです。

◆最後に

地域が学校へGTとして参加する、学校が地域の行事に積極的に関わることで、学校と地域の繋がりは確実に深まっています。この取組を子どもだけでなく家庭にも伝えるため、学習参観などで保護者も直接知っていくことが大切だと考えます。

また、テレビ番組で、子どもから「決まり事が多すぎる」という声が挙がっているのを見ました。大人が「なぜルールが必要なのか」を丁寧に説明していくことも重要だと思います。

これからも地域の皆さまとともに、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと思っています。



＊学校から＊

前期学校自己評価、全国学力・学習状況調査結果については、前原小学校ホームページに掲載しています。